

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		245,456	327,209	249,099				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	163,637	218,138	166,065				
	一般財源	81,819	109,071	83,034				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	市町村職員中央研修所 派遣職員数	年度内派遣職員数		目標	3	3	3
					実績	2	3	2
					目標達成率 (%)	67	100	67
	②				目標			
					実績			
目標達成率 (%)								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット (内容、程度等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ職種に携わる職員同士が一同に会し、自治体の現状や課題を様々な視点で議論する中で職員の能力向上を図る。 ・ 研修で学んだ各自治体の取組みを持ち帰り、職場内で情報を共有することで今後の業務見直し等に活用できる。 ・ 受講者とのコミュニケーションを通じて、情報交換や交流を図り自身の業務意識の向上（モチベーションアップ）に繋がる。

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	（１）目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	（２）実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	目標３名に対して、予定通りの研修受講ができた。 研修期間が受講者の繁忙期ではなく、希望者が受講しやすい時期であったことも達成できた理由と考える。	
実現性の点検	（１）事業への反映	（具体的内容）
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	受講者２名のうち１名は、税務課の職員であるため、習得した知識（住民税課税事務）は事業（実務）に確実に反映される。
	（２）公共性の評価	（具体的内容）
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	受講者のうち１名は税務課、もう１名は長寿介護課の職員であり、住民と接する機会も多い部署であるため、習得した知識は住民へ還元できると考える。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	行政サービスの向上に直接つながる事業ではなく、間接的な効果を求める事業であるが、当該事業の効果は高く、継続（現状維持）する必要があると考える。				